

水稻病害虫防除情報

第1号（7月11日発行）

発行者	兵庫県農業共済組合赤相事務所	(0791) 45-1101
連絡先	光都農業改良普及センター	(0791) 58-2209
	兵庫西農業協同組合	
	西播磨営農生活センター	(0791) 52-2224
	相生市農業協同組合	(0791) 22-0676

1 水稻の生育状況・病害虫発生状況

今年の梅雨入りは平年より3日遅い6月9日となり、梅雨明けは6月27日という異例の早さとなりました。このため、6月中旬以降の降水量は平年より少なく、また、気温も高く推移しています。

5月下旬、6月上旬移植では、草丈は平年並みで、茎数はやや多く推移しています。

▶生育調査結果（7月8日調査）

品種（調査地点）	草丈（cm）	茎数（本/株）	備考
ヒノヒカリ（赤穂市高雄）	53.2	20.6	移植日 6月7日
キヌヒカリ（相生市森）	56.6	24.6	移植日 5月29日
ヒノヒカリ（上郡町大枝）	46.1	31.9	移植日 6月7日

▶病害虫調査結果（7月8日調査）

病害虫名	調査結果の概要
いもち病	今回の調査では確認していません。
紋枯病	今回の調査では確認していません。
縞葉枯病	今回の調査では確認していません。
ウンカ類・ツマグロヨコバイ	一部で発生していますが、発生程度は少ないです。
カメムシ類	ごく一部で発生しています。

2 今後の管理

《 基幹防除 》

①紋枯病、ウンカ類、カメムシ類等の被害を防ぐため、栽培こよみを参考に防除を徹底してください。

品種	防除時期	主な薬剤名
キヌヒカリ	7月下旬～8月上旬 (出穂7日前～出穂始め)	ビームトレモンセレン粉剤DL
ヒノヒカリ	7月下旬～8月上旬	オーケストラロムダンモンカット粉剤DL

※住宅地の近辺など粉剤防除が難しい場合は粒剤防除を！（粉剤より少し早めに）

品種	防除時期	主な薬剤名
キヌヒカリ	7月下旬	コラトップトレボン粒剤
ヒノヒカリ	7月下旬～8月上旬	モンガリット粒剤、コラトップトレボン粒剤

②イネカメムシの防除は、出穂の2～3日前にスタークル豆粒剤が有効です。

☆薬剤は使用量等登録内容を十分確認し適切にご使用ください。

※薬剤に関する詳細は、光都農業改良普及センター、兵庫西農業協同組合、相生市農業協同組合（上記連絡先）までお問い合わせください。

《 中 干 し 》

①無効分げつの抑制、倒伏軽減、コンバインの作業性向上のため、中干しを行いましょう。目安は1株あたりの茎数が16～18本程度の時期で、軽くひびが入る程度を標準とします。

②中干し後は、間断かん水で根の活力を維持しましょう。

《 そ の 他 》

イナゴ類やカメムシ類の水田侵入を減らすため、出穂2週間前までの畦草刈りを徹底しましょう。

農薬の飛散防止に努めましょう。作業中の熱中症対策を忘れずに！

次回発行予定 8月8日です

	調査 地区名	調査圃 作付品種	調査圃 田植日	病害(抽出25株中の発病株数)								害 虫 発 生 状 況								その他	
				葉いもち		穂いもち		紋枯病		縞葉枯病		ツマグロ ヨコバイ	ヒメトビ ウンカ	セジロ ウンカ	トビイロ ウンカ	バッタ類	フタオビ コヤガ	カメムシ	イネ カメムシ	箱施用剤 有・無	備考
				発病 株数	発生 程度	発病 株数	発生 程度	発病 株数	発生 程度	発病 株数	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度			
赤 穂	新 田	きぬむすめ	6/13								少										
	高 雄	ヒノヒカリ	6/7																		
	西有年	キヌヒカリ	5/28								少										
	有年原	ヒノヒカリ	6/7																		
上 郡	宇治山	ヒノヒカリ	6/7																		
	金出地	コシヒカリ	4/28								少										
	大 枝	ヒノヒカリ	6/9											少			少				
	上栗原	きぬむすめ	6/7												少						
相 生	那波野	きぬむすめ	6/8								少				少						
	野々	ヒノヒカリ	6/16								少										
	森	キヌヒカリ	5/29											少							

※ 発生程度は、無、少、中、多、甚の5段階評価です。

(病気の発生程度は病斑の進行具合により評価しています。)